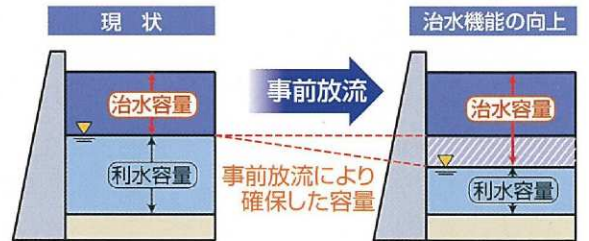


菅野ダムの事前放流とは?!

台風による洪水被害が発生する恐れのあるとき、^{あらかじめ}予めダム貯水池の水位を一時的に下げ、治水機能の向上を図ることで。

事前放流の目的

大雨（計画を超える雨）が降り、ダムが満杯（満水位）となると貯水位を今以上にあげないために、流入する水をそのまま下流へ放流します。この操作を「異常洪水処理（ただし書き操作）」と言いますが、この処理回数を減らす目的で「事前放流」が行われます。

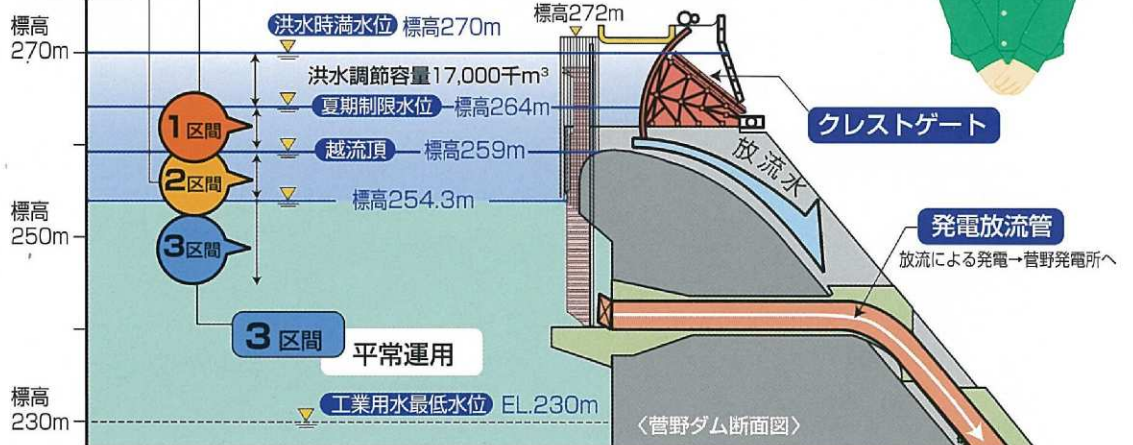


「事前放流」の方法について

発電放流管による
事前放流

クレストゲート・発電放流管
による事前放流

ダムの貯水位の
位置によって
事前放流する量が
決定されます。



菅野発電所

ご注意ください。



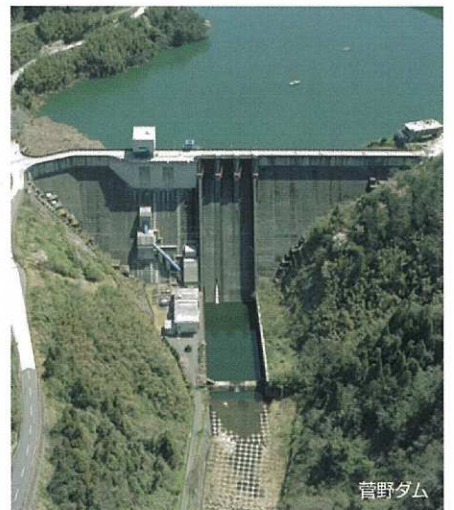
事前放流を行う場合、
28局のサイレンとスピーカー放送、
及び、警報車による流域への通知、
呼び掛けを行います。

流域住民や、キャンプや釣り・カヌーなどを楽しむ人々
にも安全面の配慮をし、細心の注意を払います。

あわてず
速やかに

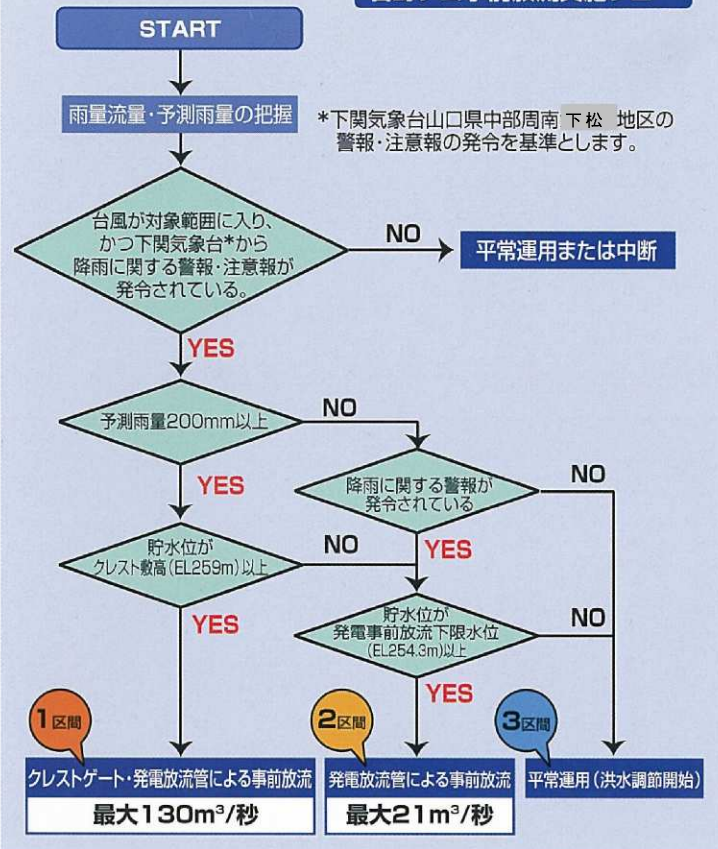


事前放流は
晴れた日にも実施
されるから
気をつけてね!!



菅野ダム

菅野ダム事前放流実施フロー



平成18年6月15日より、自治体の管理するダムでは先駆的な取り組みである事前放流が試行されます。

菅野ダム事前放流対象範囲

〈図-1〉



Q4 事前放流を行ったけれど、天気予報に反して雨が降らず、水を利用する人が困ったりしませんか？

A 生見川ダムを活用することにより、補給することができ回復可能です。



Q5 事前放流量を130m³/秒とした根拠は？

A 錦川はアユ釣り、カヌー、キャンプ等、河川内での利用が多く、河川内の利用者が安全に避難できる量にしました。



Q6 事前放流を実施すると、災害防止にどのような効果がありますか？

A 台風14号での被災地である藤河・南桑地区での水位低下はわずかですが、事前放流により治水容量を確保した分、治水機能は向上します。両地区では、事前放流とあわせて、激特事業、平瀬ダムの完成により再度災害防止を図ります。

Q7 事前放流について、だれがどのようにして決めたのですか？

A 降雨予測等、専門的な知識が必要なため、学者で構成される山口県河川委員会基本高水等検討部会に意見を聞いた後、治水 (岩国市、周南市)、利水 (企業局、周南市) で構成される菅野ダム事前放流検討協議会で、試行を決定しました。今年度試行し、課題・要望等があれば再度、上記協議会を開催して、来年度から本格的に実施する予定です。

菅野ダム事前放流 Q&A



Q1 なぜ、台風時だけ事前放流を実施するのですか？梅雨前線などによる豪雨は対象外なんですか？

A 過去に錦川流域に大きな洪水被害をもたらしているのは台風による洪水です。台風の進路は早くから予測されるので、事前放流開始までの準備が可能ですが、梅雨前線などの豪雨の場合、気象台からの警報・注意報の発令を受けてからでは、事前放流の準備時間が足りず対象外としています。

Q2 異常洪水処理「ただし書き操作」とは？これを減らすことが、洪水被害の軽減になるのですか？

A 大雨が降ると、ダムが満杯になり、入ってくる水をそのまま放流することになります。この異常洪水処理を「ただし書き操作」と言います。この操作を行うと、洪水調節機能が失われ、下流に被害が起こる恐れがあり、操作回数を減らすことが洪水被害軽減へとつながります。

ダムが満杯になったら、どうしても下流へ流さなきゃいけないんだよね。



Q3 台風による洪水被害が発生するおそれがある時を(図-1)にしたのはなぜですか？

A 過去12年間で (H6年～H17年) の台風の進路、雨量、洪水量を検討し、決定致しました。